

ゆうらくせん  
遊楽船 8月号

施設長 福永政和

子どもに戻ったつもりで七夕伝説。天帝（神様）の娘である織姫は、機織りが上手で働き者の女性。天帝は、同じく働き者で牛飼いの彦星と引き合わせました。二人はひと目で恋に落ち、結婚しました。ところが結婚すると大切な仕事はせずに遊んでばかりの生活に。怒った天帝は二人を天の川の兩岸に引き離しましたが、織姫が泣いて悲しんだため、仕事に励むことを条件に、年に一度、七夕の夜にだけ会うことを許すようになった…という話です。

日本でも5色の短冊に願いを書き、いろいろな形の飾りを笹竹に吊す七夕飾りが風物詩として定着しています。昔は高ければ高いほど星に願いが届くと考えられ、屋根の上まで高くかかっていたようです。

天帝の命を受けたカササギの翼にのって天の川を渡り、ふたりが年に一度再会できるというロマンチックな話。年に一度願いが叶うとして恋愛がテーマだと思われがちですが、ふたりが引き裂かれ再会に至る経緯を考えると、実は、芸芸に励み、働くことの大切さを説いた話であることがわかります。彦星は「牽牛」と呼ばれ牛を引っ張るイメージで「稲作」を、また、織姫は織女と呼ばれ、布を織る「織物」を意味します。どちらも昔の人々の生活には無くてはならない技術。そう考えると、願いを叶えるためには、日々健康で仕事に勤しんでこそ、願いは叶うということになるのでしょうか。また、笹には魔を払う力があると言われているようです。

利用者の皆さんが、日々自分のできる活動に勤しみ健康でありますように、いっぱい楽しい思い出が作れますようにとの願いを込めながら、今年も利用者の皆さんと職員で七夕飾りを作り、また、そうめん流しへ出かけてきました。地域によっては旧暦の8月に七夕を迎える方々もおられるのではないかと思います。

これからが天の川がよく見える季節、弟の初盆もやってきます。星空を眺めながら、父や弟との思い出を回想し、未来を展望したいと思います。

猛暑の日々が続きます。皆様もどうかご自愛いただき、健康にお過ごしください。

7月7日（金）、今年も竹川峡（溝辺）へ出かけ、そうめん流しを楽しみました。今回はなかなか長旅が難しい方々が中心です。この日はそうめんの日。織姫の糸に似ている、天の川に似ているなど様々な説があるようですが、いずれにしても「無病息災」を祈りながら、美味しくいただきました。久しぶりの外出にとっても嬉しそうでした。



竹川峡そうめん流し

七夕～短冊に願いを込めて



クラブ活動の時間を利用して、今年も七夕飾りを作りました。

5色の短冊には「健康でありますように」などと思いいいにかかれています。願いが叶いますように！😊



3班沖縄旅行 (6/30~7/3)

3班6名が沖縄旅行(3泊4日)。既に梅雨明けした沖縄は眩しい太陽にエメラルドグリーンの海。水族館や平和祈念公園、万座毛、米軍基地など沖縄ならではの名所を散策しました。特に、なかなか入場が難しい米軍基地や最新の映像や空間表現を売りにした、かりゆし水族館など初めての観光地も巡り、満喫してきました。一緒に旅した伸二さん(遺影)、いつも身近にいてくれたことを思い出します。



7月に入って、室中真也さんをご家庭の事情により退所することになり、お別れ会をしました。開園当時からの長いお付き合いでした。お父様とお姉様が一緒に来園され「長年仲良くして頂きありがとうございます」と皆さんへ挨拶してくださいました。寂しくなりますが、これからも元気で過ごして欲しいと思います。

また、新しく山口さき子さんが入所されました。皆さんと仲良く過ごされています。写真は、利用者を代表してのお別れの挨拶(漆間さん)と歓迎の挨拶(桑木野さん)です。たいへん心温まる挨拶でした。



## 初めてのグランピング (7/23・24)

14人の利用者の皆さんが、最近流行しているグランピングを楽しんできました。グランピングとはグラマラス（魅力的な）とキャンプを組み合わせた言葉で道具を用意しなくても気軽にキャンプを楽しめる体験のこと。今回利用したのは宮崎県都井岬の施設。国の天然記念物である野生の「御崎馬（みさきうま）」が生息する景勝地、大自然に恵まれたロケーションでいつもと違うリゾート気分を楽しみました。寝泊まりする中で利用者の皆さんとじっくり話ができます。「これまでの人生で一番今が幸せです。」とつかわきでの充実ぶりを語られた堀切さん。その話を聞きながら、私達も共に生きることの大切さを実感し、幸せな気持ちになりました。



## 自治会主催 6月&7月誕生会

6月18日(日)、7月22日(土)にそれぞれの月の誕生会を開催しました。6月は今吉幸一郎さん、東治久さん、桑木野京子さん、福森和也さんの4名、7月は岩水と男さん、松山まり子さんの2名です。皆さん、毎回プレゼントを楽しみにしている様子、ますますお元気で！

### ※感謝

7月号でお知らせしました、弟 福永伸二(6月4日逝去、享年57歳)に対しまして、家族会の稲森様、西川様、福永様、柳様、室中様、また、職場の関係者、坂元吉治様はじめ地域住民、元職員や友人の方々など多くの皆様から、ご香典等をいただきました。7月22日が四十九日の法要でございました。無事に極楽浄土に行けたのではないかと。これまでお世話になった方々へあらためて感謝と御礼申し上げます。(施設長)

つかわきのホームページを新しく開設しています。

tubominokai.com で検索していただくと、このつかわき便り「遊楽船」もご覧いただけます。